

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 11 月 2 日(土)

試合時間：18：20～

CC：古後 宏和

U1：峰 聡

U2：前田 隼大

九州共立大学	○ 76	16	—1st—	9	● 66	九州産業大学
		17	—2nd—	17		
		21	—3rd—	21		
		22	—4th—	19		

第 1 クォーター

九共大 # 1 1 久保田のシュートから試合がスタート。序盤から両チーム激しいディフェンスを展開し、なかなか得点が入らない。中盤以降、# 3 奥田のファストブレイクから得点し、流れを引き寄せようとする九共大であるが、すかさず九産大 # 1 3 上良が 3 P シュートを決め返し、流れを譲らない。拮抗した展開を先に抜け出したのは九共大。九共大 # 3 奥田のボールプッシュから次々と得点を重ね、九産大は残り 3 : 16、タイムアウトを請求する。その後、九産大 # 3 2 Anthony を中心に攻める九産大であったが、九共大は堅い守りを見せ、16 - 9 の九共大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

序盤、九産大は # 3 2 Anthony、九共大は # 2 4 ハッサンの二人がゴール下で存在感を見せる。一進一退の攻防が続くが、中盤に入り、九産大がファストブレイクから得点を重ね、点差を縮める。勢いの止まらない九産大は、# 0 仲上、# 1 3 上良が連続で 3 P シュートを沈め、同点に追いつき、九共大は残り 3 : 42、たまらずタイムアウトを請求する。その後、九共大は # 3 3 小田の 3 P シュート、# 3 奥田のバスケットカウントで再び流れを引き寄せ、33 - 26 の九共大リードで第 2 クォーターを終える。

第 3 クォーター

序盤から両チーム激しい攻防を繰り広げ、流れを渡さない。先に流れを掴んだのは九共大。# 3 奥田のアシストから次々と得点を重ねる。対する九産大も # 1 3 上良が高確率でジャンプシュートを沈め、必死に追いつく。その後も、九共大 # 1 4 田川が 3 P シュートを決めると、すかさず九産大 # 9 米須も 3 P シュートを決め返し、お互い流れを譲らない。終了間際、九産大 # 3 2 Anthony がゴール下で得点するも、54 - 47 の九共大リードで第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

序盤、九共大 # 1 1 久保田が連続で 3 P シュートを沈め、リードを広げる。対する九産大も # 1 3 上良のファストブレイク、# 3 2 Anthony のバスケットカウントからの得点で再び点差を縮める。その後、九共大は早い展開からの得点で流れを引き寄せる。流れを変えたい九産大は残り 5 : 48、タイムアウトを請求する。その後、九産大はゴール下で着実に得点を重ねるが、最終クォーター終始攻撃の手を緩めなかった九共大が、76 - 66 で勝利した。